

新しい可能性を見いだす年

南あわじ市長 中田勝久



市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。日頃は、市政運営に對しまして深いご理解とご協力を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。昨年は、少子高齢化が急激に進むなか、長期的視野に立ち少子対策課の設置や少子対策事業の充実を行い、企業誘致についても前進いたしました。上川少子化担当大臣にも高く評価され、注目いただいております。まちづくりの基本として、少子化の流れを何とか食い止めたいと切望しております。さて、財政再建を急がなければなりません。幕末期、備中松山藩において、藩政改革を成し遂げた政治家「山田方谷」に学ぶところがあります。「義と利との区別」が重要としながら、協力体制を築き直視断行すると共に、負債整理、信用回復、上下節約、民生刷新・教育改革などの七大改革と称されることを行いましたが、財政改革だけでなく産業振興も強く推進しています。方谷は、金銭の増減に終始するだけでなく、「備中鯉」や「ゆ

べし（柚餅子）菓子」などの特産品の開発・生産・流通販売を戦略的に進め、財政再建を見事に成し遂げました。南あわじ市においても、全国に秀でた農業、漁業、瓦産業、地域文化の特徴を伸ばし、交流・定住人口の増大や観光振興などへ繋げてまいりたいと考えております。また今年、神戸淡路鳴門自動車道全線開通十周年となります。料金低減化運動と共に、淡路島を活性化する新たなスタートとして全島で記念事業を展開し、淡路島を全国に発信してまいります。

初代市長という重責を与えられ、早くも三年が経過いたしました。一年目は「点検検証の年」、二年目は「本格的な始動の年」、三年目は「熟慮断行の年」として懸命に市政を運営してまいりました。市民の皆様方におかれましては、「夢出せ！知恵出せ！元気出せ！」を合言葉に、家庭づくりや地域活動、仕事や勉学に精励されご活躍下さいますようお願い申し上げます。皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

ました。本年は、合併時からの懸案でありましたケーブルテレビ事業及びデジタル化が全市において完了し、コミュニティバスについてもネットワーク化が実現します。また、震災対策の最重要課題である小学校・中学校耐震化も、県下の他市町に先がけ一〇〇％を達成します。一期四年の最終年となる今年

は、「新しい可能性を見いだす年」と位置づけ、しっかりと行財政改革を進めながら、すばらしい人材・特産品・景観・歴史文化など「ふるさと」の新しい可能性を見いだしていきたいと存じます。市長として「治国平天下」（国をうまく治め、天下を平和にすること）の境地に立ち、清潔かつ公正で民主的な市政を推し進めていき、「夢・知恵・元気あふれ、安全で安心なまちづくり」をめざすと共に市民の参画を求め、財政が厳しい昨今ですが、将来に希望が持てる施策を展開してまいります。



平成19年を振り返って

南あわじ市の出来事

- 1月 三原郡酪農協と洲本市酪農協が合併し、淡路島酪農協が発足
- 7日 初の女性消防団員に辞令交付
- 15日 少子対策本部を設置
- 21日 第1回南あわじランニングフェスティバル開催
- 2月 9日 いぶし瓦の漁礁を設置（海釣り公園「淡路瓦」が特許庁の地域ブランドに（地域団体登録商標）
- 20日 灘く沼島間の海底光ファイバーケーブルを敷設
- 24日 広域防災拠点完成（淡路ふれあい公園内）
- 26日 淡路人形浄瑠璃がユネスコ文化遺産優良事例コンテストに選出
- 3月 6日 あわじ島農協「第2育苗センター」竣工（阿万上町）
- 6日 廃食油の回収が各庁舎で始まる（玉葱残さ処理施設の補助燃料として）
- 24日 潮美台地区公民館完成
- 27日 15施設に指定管理者指定証を交付
- 4月 1日 市民による青色パトカー巡回始まる
- 1日 少子対策課を新設
- 9日 淡路三原高校が開校
- 9日 在宅子育て応援バスポートを交付
- 28日 イングランドの丘に旧三原郡役所蘇る「国生みの館」
- 29日 市民まつり「淡路だんじり祭」開催
- 5月 1日 上村源之丞座の諸資料が里帰り
- 19日 若者グループ「FRONTIER」発足
- 行政懇談会を開催（8月まで市内

謹賀新年

平成20年



自立・持続可能な都市をめざして

南あわじ市議会議員 登里伸一



新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、大変厳しい社会情勢の中ですが、それぞれの期待や希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、市政はもちろん議会活動に對しまして、格別の御理解と御協力をいただき、心から感謝を申し上げますと共に、厚く御礼申し上げます。

南あわじ市が誕生して四年目を迎えました。近年、国の進めている三位一体改革は、地方の実態を踏まえることなく、国の一方的な方針の下に、地方財源を大幅に削減するものであり、

一般事業費は本年度当初予算の三割削減という「超緊縮型」で、県下市町は、その影響を大きく被る厳しい状況にも直面します。南あわじ市は、「自立・持続可能な都市をめざして」昨年の四月から施策の「選択と集中」を徹底し、歳出の重点化を図り「少子対策」「防災対策」「職及び食づくり」「行財政改革の断行」の四本柱の諸施策を展開しているところです。

一方、合併による地域間の格差をなくし、市民や地域の多様なニーズに応えながら、まとまりのある市を創造していかねばなりません。このように地方分権の進展に伴って、市民生活に直結している地方議会の果たすべき役割は、重要且つ大きなものとなってきております。

議会といたしましては、「食」がはぐくむふれあい共生の都市づくりの実現を目指すとともに、皆様の声を聞きながら、的確な施策の推進に向け議論を存分にを行い、皆様のご期待にこたえてまいります。

本年も、皆様の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、幸多き年でありますようお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



- 21地区で実施
- 19・20日 南あわじ市スイーツフェスティバル開催
- 25・26日 「柴漬け産卵場」設置（南あわじ市アオリイカ資源増大協議会）
- 6月 6日 「得・得 戎様プラン」初の実施
- 7日 阿万海岸でアカウミガメの産卵を確認、約40年ぶり
- 7月 13日 子育て応援シンボルキャラクター「ゆめるん」誕生
- 17日 地域包括支援センター南淡分室開設
- 20日 CATV網貸線により市内全域光ブロードバンド化を実現
- 21日 一本釣りぬしま鱈フェア開催
- 28日 市民まつり「慶野松原花火大会」開催
- 8月 1日 わんぱく塾子ども議会開催
- 11日 大橋等通行料金の低減化に向け「淡路島民フォーラム」開催
- 12・14日 福良湾海上花火大会開催
- 20日 「縁結び事業推進協議会」発足
- 9月 8日 「少子対策・子育て支援フォーラム」開催
- 16日 賀集生子地区のほ場整備が完成。竣工式が行われる
- 29・30日 食まつり・畜産共進会開催
- 10月 6日 「水産まつり」丸山漁港で開く
- 13日 大鳴門橋記念館の愛称「うずの丘」に決定
- 26・27日 「食と文化の市民まつり」開催
- 28日 南あわじ市総合防災訓練を実施
- 11月 23日 淡路三原高校開校記念式典
- 12月 1日 市消防団「なでしこ分団」が発足